



1ヶ月に1回発行。弘前大学生協の活動をお知らせいたします。

弘前大学生協のホームページは、「弘前大学生協」で検索！

Vol.153

● 弘前大学への奨学金寄付 感謝状を受領しました。 ●



3月15日、弘前大学・福田学長より、奨学金寄付の感謝状を受領しました。

3年続いたコロナ禍で学生の生活スタイルそのものが変化をし、生協も厳しい経営状況が続きます。

しかし、長くアルバイトができない期間が続く困窮する学生、給付型が受けられず貸与型奨学金を受給し将来に渡り返済をしながら生活する学生、様々な事情で困窮する学生が多いことから、一人でも多くの修学支援ができるよう、今後も可能な限り継続する意向を山田理事長より伝えました。

弘前大学生協 専務理事 上遠野泰

弘前大学への奨学金寄付

「弘前大学生協同組合学生支援金給付事業」…経済的理由により修学が困難な学生に対する支援金。修学に係る経済的負担の軽減、また修学環境を整える一助とすることが目的。

第62回 通常総代会開催のお知らせ

日時：2023年5月26日(金) 18:00~20:30(予定)

場所：大学会館3階 大集会室

総代会は弘前大学生協の組合員である皆さんの生活にかかわる重要な会です。生協の意思決定のための最高議決機関となっています。この会では過去一年間の生協の活動報告と決算、新しい年度の活動方針と事業予算の承認のほか、生協の運営に責任を持つ役員を選出を行います。

大学生協は「大学生協同組合」の略で、数ある「協同組合」の一つです。利用者の一人ひとりがお金(出資金)を出し合い組合員となり、協同で運営・利用する組織です。

生協は加入して利用しましょう！



【事前アンケートのお願い】

SDGs「12.つくる責任つかう責任」や生協運営に関して、皆さんの意見をお寄せください。

←の二次元バーコードを読み込むとアンケートフォームになります。

弘前大学生協同組合 第62回通常総代会

議案書ダイジェスト

開催日時：2023年5月26日(金)
18:00~20:30

開催場所：未定 ※別途ご案内します

—目次—

p2...総代会について

p3...総代の役割と活動内容

p4...議案各号の概略

p8...組合員活動の時間について



2年生向けプログラム プラスワンナビ#6「就活応援ガイダンス」

開催日：3月4日(土) オンライン開催 参加人数：19名

質問 インターンシップについて

・インターンシップはいくべきですか？
行かない方がいい？ 準備はいつから始めるのが良いか



【参加者の感想】

- 全6回ありがとうございました
- 先輩の話も聞いて楽しかった。就活の色々なことがわかった。
- 将来のために何をすべきか悩んでいたが、セミナーを聞いて少し見通しがたつた。

開催目的

大学1年生の間は大学生活についていくので精一杯、3年生からは就活が始まる…

「大学生活をもっとも充実させられる2年生の時期をどう過ごしたらよいか?」「何かヒントにできることはないか」という思いで、2年生の過ごし方に+1(プラスワン)できる機会として始めました。2年生と、その保護者様を対象としています。

「仲間づくり」「先輩とのつながり」「大学生活のこと」「将来のこと」をキーワードに、参加者のアンケートの声も反映して、年6回開催しました。

今回は「就活応援ガイダンス」!「生協は学生の皆さんの就活を応援します!」という気持ちでガイダンスを計画しました。当日は就活内定した先輩へのインタビューを中心に、これから就活を始める皆さんに役立つコンテンツについて紹介しました。2年生の方がこれから就活をスタートする第一歩の機会にできたのかなと思います。

今回で年6回全てのガイダンスが終了しました。2年生・保護者の皆さまと繋がる機会をいただき、運営側としても毎回楽しみながら開催させていただきました。また会を通して、弘大OBOGの皆さまと繋がることができました。ぜひ次年度も一つ一つの繋がりを大切にして、新2年生・保護者の皆さんと一緒に作っていくスタイルを大切にしていきたいと思います。より多くの2年生・保護者の方に興味を持っていただけるよう頑張ります!

SHAREA店 学び担当 柿本加奈子

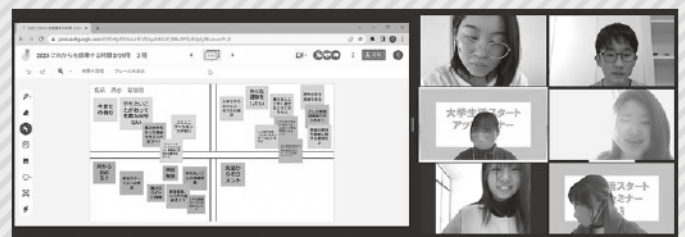
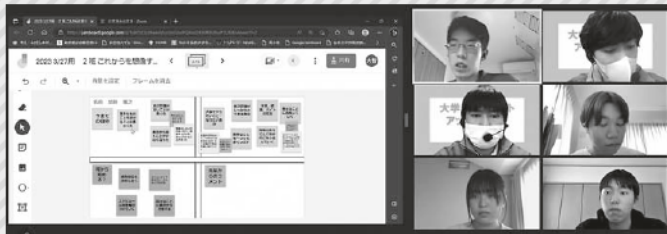
Start Up Seminar (学生委員会 オンライン開催)

開催日：3月23日(木)・24日(金)・27日(月)・28日(火)・29日(水)・30日(木) 参加人数：114名

開催目的

- 1) 将来のビジョンを持って自主的に行動できる力を身に付けてもらう。
- 2) モチベーションや好奇心を保ち目標を立てるきっかけにする。
- 3) 同期や先輩と積極的に情報交換し不安解消できる機会を作る。

テーマ別講演会では「アルバイト」「部活・サークル」「大学院」「一日の生活」「大学生の内にやっておくべきこと」「情報収集」のテーマのうち、各日程3つの講演を聞き、大学生活を具体的にイメージしてもらいました。先輩の体験談を聞くことで新生活へのモチベーションが向上します。



これからを想像する時間では、グループごとに分かれてこれまでの自分を振り返り、大学生活4年間を見据えた目標を立てました。グループにいる先輩がアドバイスをすることで、より深く詳細な内容になります。その後、内容をグループ内で発表しました。

生協学生委員会 農学生命科学部2年 細井実桜

【参加者の声】

- 大学生活についての不安を具体的にどうするべきか考え、視覚的に先輩方がまとめてくださったので、これからすべきことがわかってよかった。(農生)
- 大学生活がもう少しで始まるので不安で知らないことが多く、心配でしたが、先輩3人の話や班の2人の先輩のアドバイスにより、不安を少し解消することができました。これから始まる大学生活を頑張っていこうと思います!(人文)
- 大学生活の目標を考えることができ、不安も少し解消されました。丁寧に説明やアドバイスをしてくださってありがとうございました。(人文)

WelcomeParty (学生委員会・オンライン開催)

開催日時

【ハロー総選生！】2月21日(火)・25日(土) 14:00~16:30

【新入生 WelcomeParty】

3月23日(木)・24日(金)・27日(月) 18:00~20:30

3月28日(火)・29日(水)・30日(木) 16:00~18:30

参加人数：ハロー総選生！ 計74名・新入生 WelcomeParty 計381名



総合型選抜合格者対象のハロー総選生！では、現役弘大生が新入生の疑問にリアルタイムで答える「お悩み相談ラジオ」、課題に対してチームで話し合ってもらい優先順位を決める「コンセンサスゲーム」を行いました。「お悩み相談ラジオ」では新入生から多くの質問が来て大好評でした。また、「コンセンサスゲーム」の時間もお互い初対面になる新入生が班員と積極的に話し合いを進めていたことが印象的でした。会終了後も、班で自由にトークする時間を設けましたが、多くの班が最後まで残っていて楽しく交流していたことが伝わってきました。



新入生 WelcomePartyではハロー総選生！で好評だった「お悩み相談ラジオ」で送られてきた質問に回答する「お悩み回答コーナー」、班にいる先輩が自分の大学生活の様子を紹介する「先輩の一日紹介」、すごろくを使って新入生同士で交流する「班内交流」等の企画を行いました。はじめは緊張していそうな新入生が多かったのですが、会の後半ではとても楽しそうに交流していました。また、アンケートの結果でも「友達関係の不安が解消された」等のポジティブな意見が多く、新入生の多くが満足してくれたことを実感しました。



生協学生委員会 人文社会科学部2年 山本大智

【参加者の声】

- お悩み相談ラジオの内容がとても参考になりました！
- 入学前に同じ大学の人と交流できてよかったです！
- 大学生活がより楽しみになりました！ありがとうございました！
- 同級生にどんな人がいるのか知れたので大学生活を想像しやすくなりました。
- 新入生同士の交流はとても貴重な時間だったのでこれからも続けてほしいです。
- すごろくなど様々な企画があって、緊張がほぐれて楽しめました！
- 先輩方のお話を聞いてよかったです。また、同じコースの人たちとも交流できてよかったです。



第58回学生生活実態調査 (全国大学生生活協同組合連合会)

〈調査概要〉

調査実施時期：2022年10~11月（1963年より毎年秋に実施 ※未実施年あり）

対象：全国の国公立および私立大学の学部学生

調査方法：Web調査（郵送またはメールで調査依頼し、Web上の画面から回答）

調査項目の概要：収入・支出、奨学金、アルバイト、登校日数、授業形態、サークル所属、就職活動、学生生活充実度、勉強時間、読書時間など

毎年行っている調査で、コロナ禍になって3回目となります。弘前大学生協でも無作為抽出した学生組合員の方へ、調査の協力をお願いしています。

大学生活の半分以上をコロナ禍で過ごし、どのような大学生活を過ごしているのか。コロナ禍前とどのように変わってきているか報告概要に掲載されています。

この調査を参考に今後の大学生活向上のためにつながるサービス等を提供していきます。

アンケートの結果詳細は「全国大学生生活協同組合連合会」ホームページにて公開されています。



学生総合共済からのお知らせ

2月のお支払い状況

病気入院	8件
病気手術	8件
事故入院	6件
事故通院	8件
親扶養者死亡	1件
計	31件

お支払い金額

2,253,000円

*G1200コース加入者のお支払い件数を掲載しています。

たすけあいアンケートより

「特に一人暮らしの大学生へ。ケガにはものすごく注意して生活してほしいです。一人暮らしでのケガは不便すぎます。心が折れそうでした。たくさんの人に感謝しています。」
 (スポーツ事故 バスケットボール部活中に足をひねった。通院6日 共済金12,000円)



新型コロナウイルス感染症に伴う「みなし入院」による入院共済金の取り扱いが変更になりました。2022年9月26日(月)以降に新型コロナウイルス感染症と診断された方について、みなし入院(自宅療養・宿泊療養)に関して共済金の支払い対象が変わります。詳しくはco-op学生総合共済のホームページ(新型コロナウイルス感染症ページ)をご参照ください。

環境活動 (学生委員会)

2022.3~2023.2

【回収活動】弁当容器：回収量：897枚 / 割りばし：回収量：8.87kg / ペットボトルキャップ：収量：171.37kg
 ※回収頻度は二週間に一度程度でまとめて回収しています。

【回収BOX設置場所】弁当容器：医学部保健学科棟/割りばし：農学生命科学部棟/ペットボトルキャップ：人文社会科学部棟
 ※教育学部棟と総合教育棟からは上記すべての回収を行っています。

【回収後について】弁当容器は生協店舗へ返却しYOKOTAリサイクル工場へ、割りばしはリサイクルされ紙の原料になります。ペットボトルキャップはリサイクルして資源化し、得たお金は白神山地の環境保全・環境教育事業の実施に活用されます。



学生委員会における環境活動の1年間を通して、植樹祭やごみ処理場見学、花壇活動などを行うことにより、組合員に環境への興味関心をもってもらおうという目標を達成できたと考えられます。

来年度に向けて、新型コロナウイルスの影響による制限の緩和により企画の参加人数を増やし、より多くの組合員に参加してもらうことで環境や資源について知り、考える機会を増やしていきたいと考えています。

生協学生委員会 理工学部2年 佐藤遼汰朗

編集後記



今年も巣立っていく学生を見送りました。2年生になるときにコロナ禍となり、サークル等活動の中心となって動くときだったので「何ができるのか」をとにかく考えていたとのこと。話し合うのもオンラインでなかなか細かいところまで話ができなかったり、活動の制限もあって思うようなことはできなかったけれど、「それに向かって行動した」ということは「頑張った」と言えることです、と話してくれました。そして、「4年間あっという間」は卒業する今本当にそう思う、だから後輩みんなには「いろんなことをしてほしい」とも。大学生活が楽しかったといえるように、新入生の皆さんにも過ごしてほしいと思います。(SHIMO)